



令和7年度

# 牛込二中だより

【第1号】

発行日 令和7年4月11日

発行 新宿区立牛込第二中学校  
校長 小泉 雅一

Web <https://www.shinjuku.ed.jp/jh-ushigome2>



【教育目標】 自ら学び、考え、行動する人 思いやりと責任感のある人 健康で心豊かな人

## 令和7年度 学校生活スタート

4月より、校長として着任しました小泉 雅一と申します。よろしくお願いいたします。

今年度は、41名の新入生を迎え、全校生徒151名でスタートしました。“151の個性”を大切に、集団生活の中で生徒一人一人が輝ける学校を目指します。本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

### 始業式での生徒の笑顔

4月7日(月)は、着任式に続き、始業式を行いました。学年の先生方を発表すると、生徒から歓喜の声が湧き上がりました。

また、年度当初の校長講話では、「3年生は最上級生となり、2年生は明日から(入学式以降)先輩と呼ばれるようになります。そして私は、牛二中の代表となりました。新年度を迎え、立場が変わった者同士、新たな目標を見付けて、より充実した中学校生活にしましょう。」と話しました。生徒の笑顔や話を聞いているときの真剣な表情に、ますます新天地での生活が楽しみです。



始業式の様子

### 「ハイ!!」と、元気な返事に期待が膨らむ入学式

4月8日(火)は、天候にも恵まれ、第79回入学式を行いました。新入生の呼名では、生徒一人一人が、大きな声で「ハイ!!」と返事をし、その立派な姿から「中学生として、新たな気持ちで頑張ろう!!」という意気込みが伝わってきました。この時を忘れずに、多くの友だちや先生との出会いを大切に、明るく意欲的に中学校生活を送ってもらいたいと期待が膨らみます。

校長式辞では、3年間の中学校生活を、より楽しく、充実したものにするためのコツを2つお話ししました。  
①自分のこと、そして他人のことを大切にしてください。②自分で考えるということを大切にしてください。

人には、持ち味というものがあります。個性や考え方も違えば、得意なことや苦手なこと、興味があることも違います。つまり、誰もが掛け替えのない存在であるということです。だからこそ、自分自身も持っている「良さ」に自信をもってほしいですし、自分のことと同じように他人のこと大切にしてほしいのです。

また、物事を決断するとき「誰かに言われたから。」「友だちもやっているから。」は、あくまでもきっかけにすぎません。自分で考え結論を出すことを心掛けてみてください。そうすれば、「達成感」や「充実感」を得ることができます。そして、自分の思い通りにならなかったとき、他人のせいにするのではなく、自ら道を切り開く力を身に着けることにもなります。たくさんの経験から得られる財産を手にして、自らの力で中学校生活をより楽しく、充実したものにしてほしい、という期待を込めてお話ししました。

### 生徒が進める生徒会オリエンテーション

4月9日(水)は、生徒会本部役員並びに専門委員会の委員長が中心となり、生徒会オリエンテーションが実施されました。プレゼンテーションソフトを活用し、新入生に分かりやすく説明をしている先輩たち。舞台となるステージの前に先生の姿はありません。生徒たちだけで進行している様子に自然と笑みがこぼれました。生徒同士が力を合わせ、自らの力で、有意義な中学校生活に送ってもらいたいと願うばかりです。



生徒会オリエンテーションの様子

### 複数担任制の導入(1年生)

今年度の1年生は、複数担任制を導入します。生徒の混乱を避けるために各学級の窓口となる先生は決めるものの、学級担任を一人に絞らず、複数体制で生徒を見守り、自立を促す方針です。2、3年生は、従来通り、各学級に担任を配置していますが、複数体制で生徒を見守ることに違いはありません。ご理解、ご協力の程、よろしくお願いいたします。